

病院名		平成20年度バランス・スコアカード												
理念		明日を担う子どもと家族のために、安心・信頼・満足の得られる医療と支援を行う。												
平成21年度に目指すべき姿		主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした保健・医療・療育・福祉サービスの県の中核機関として、医療・ケアの包括的なサービス提供を行う。高度な専門知識と技術の向上に努め、良質で安全な科学的根拠に基づいた医療を、十分な説明と納得の上で提供する。												
区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H18実績値	H19実績値(見込)	H20目標値	H20実績値	H20年度に実施したアクションプラン	役割分担				
										診療局	看護	事務	保健	療育
顧客の視点		病院のブランド力の向上 患者満足度の向上(安心、信頼、満足) 一般会計事業の評価向上	病院認知度の向上 満足度(定量化)向上 待ち時間対策 新規事業の開発 一般会計事業の満足度向上	県外患者数(入院・外来実数) 苦情件数(件数・前年度比) 患者満足度 待ち時間調査 新規事業数	3,821人 78件 3.73 4.12 -	4,009人 46件 3.86 4.05 -	前年度105% 前年度比80% 前年度比101% 診察待時間30分以下 2	前年度116% 前年度比107% 前年度比101% - -	(269+4382) / (入院実数255+外来実数3754) 7月より地域連携室に専任職員を配置 49/46 広く患者の意見を聞き入れている。 未実施 未実施 頭痛外来の開設					
財務の視点		収入増 コスト削減	収入増加 コスト削減 未収金の減少	経常収支比率 医業収支比率 給与費 / 医業収益 材料費 / 医業収益 過年度未収金額	106% 88% 65% 20% 94万円	108% 93.2% 60% 18% 101万円	106%以上 92%以上 61%以下 20%以下 100万円以下	108.2% 93.2% 62.6% 17.8% 118万円	1月にクレジットカード払の導入、3月に回収委託の開始					
内部プロセスの視点		医療安全の徹底 医師・コメディカルの事務軽減 新規医療サービスの開発 病床利用の向上 活発な広報活動 原価管理 材料委員会の活性化 診療報酬制度的な請求 職員満足度の向上 地域連携 地域療育支援	ヒヤリハットの減少 医療安全策のPDCA評価徹底 医師から医療事務職へ仕事の移行 医療ニーズの解析 新規サービス案の募集 病床利用率の向上 ホームページ充実 医師会等での講演や広報 原価管理システムの導入 材料委員会の認知と権限強化 診療報酬請求漏れの防止 診療報酬の返戻、減額防止 離職率の低下 医師を含め、就職希望者の増加 地域連携の強化 在宅医療の支援 療育教室等への派遣事業	ヒヤリハット報告数 医療安全改善案の実施率 診断書類の医事取り扱い数 新規サービスの件数 病床利用率 平均在院日数 ホームページアクセス数 医師会等での講演回数 システム検討 材料費比率 レセプト返戻件数(率) レセプト減点件数(率) 離職率 職員満足度 職員採用公募応募数 紹介率(精健含む) 長期入院患者の在宅移行率	71件 - - - 65% 16.4日 4,885件/月 - 20% 437件 370件 5% - - 44% -	84件 - - - 73% 18.1日 6,550件/月 - 18% 541件(1.7%) 337件(1.1%) 9% - 28件 40% -	100件 95%以上 30件/月 2件 74% 19日未満 7,500件/月 2回 システム検討 20%未満 500件(1.5%) 310件(1.0%) 5%以下 90%以上 20件 45% 20%	84件 95.3% 10件 - 76.8% 16日 5,091件/月 2回 - 17.8% 511(1.45%) 279(0.79%) 7.0% 56.0% 28人 45.7% 184回	医療安全委員会毎月開催、全職員研修2回実施 医療安全監査を実施 徐々に受付業務をしている。 未実施 頭痛外来の開設 未実施 随時日数をチェックし、超過が予想されるときは対策を練っている。 ホームページ全面リニューアルを実施(11月) 草津東医師会、県医師会研修会へ講師派遣 未実施 材料委員会では、安価な同等品への切り替えを進めた。 (社保・国保のみを対象) 返戻は、算定もれなどの理由により当センターからの依頼返却がある。 希望退職者数 12人 職員満足度調査実施 回収率44% 看護師応募者数、インターンシップ(看護)13人、専攻医公募3人 7月より地域連携室に専任職員を配置 在宅支援のための入・通院児のケースカンファレンスを実施 97回 地域療育教室に専門職員を派遣					
学習と成長の視点		職員教育制度の充実 研修活動の活性化 研究活動の活性化	レジデント・研修医のカリキュラムの充実と指導体制の強化 専門性を高める研修会参加 必要に応じ長期研修派遣 外部医療・療育関係者への研修会の充実 学会活動と論文発表の活性化	各カリキュラム数 職員向け研修会開催数 外部向け研修会開催数 学会発表数 論文発表数 講演会	- 10回 9回 55回 20本 20回	- 8回 9回 46回 7本 33回	3 10回 9回 55回 30本 16回	- 10回 (55回)H19 (11本)H19 (30回)H19 16回	未実施 感染(2)、BSC(2)、安全(2)、個人情報、救急、接遇、新人各1回 従事者、保護者への研修会を実施 研究研修費予算の執行					